

まちのニュース カメラアイ ～地域のお話をお届けします～



いつまでも、いきいきと暮らせるよう

サロン情報交換会が町内でサロン活動に携わっている方々と、アドバイザーとして旭川大学の林教授や学生たちが参加して行われました。毎年開催している情報交換会を今年はサロン「おやすみ処」（字南町）をお借りし、コーヒーを飲みながらそれぞれの地域の活動状況などの意見を交わし有意義な時間を過ごしました。

火の用心を呼びかけ

保育所すみれ組（年長）の子どもたちが消防和寒支署を訪れ、放水体験をしました。

消防支署ではその他に消防車や救急車を見学し、暮らしを守る仕事に触れました。

その後は図書館で防火DVDを鑑賞し、ホクレンショップ前でチラシを配りながら「火の用心」を呼びかけました。



交通ルールを守りましょう！

秋の全国交通安全運動が9月21日から30日に展開されました。21日には交通安全少年隊の子どもたちが、交通安全の思いを込めたメッセージカードと収穫したばかりの野菜をドライバーに手渡し、「安全運転をお願いします」と交通安全を呼びかけました。



「三角山市場」出店

「月刊わっさむ」でお馴染みの札幌三角山放送局において、「わっさむ恵みの市」運営農家さんから2名の協力のもと、和寒町でとれた野菜を販売してきました。「毎年和寒の野菜が楽しみなんです。」と札幌にお住まいの方たちにも大好評でした。





9/25
(火)

交通安全を誓い ナイスショット

和寒町交通安全協会主催の交通安全スポーツ大会が開催されました。

スポーツを通じて、交通安全の認識を深め、町民相互の親睦を図る目的で毎年行われ、25回目を迎える今年は56名の町民がパークゴルフに参加しました。この日は、好天に恵まれ、お互いの腕を競い合いながら、楽しいひとときを過ごしていました。

駅の清掃奉仕

町内の生きがいづくり女性サークル「楽縁クラブ」（今田八千代代表）が、JR和寒駅の清掃ボランティア活動を行いました。和寒町の顔となる駅をきれいにし、気持ちよく使ってもらうために、この日は8名の会員が、持ち寄った清掃用具で隅々まで掃除しました。

同クラブは、定期的集まる例会の他、小中学校や芳生苑に雑巾を寄贈するなど、積極的に地域への奉仕活動を実施しています。



10/1
(月)



10/6
(土)

遊休品を有効活用

クリーンタウンわっさむ主催の「リサイクルまつり」が開催され、遊休品コーナーは、例年に比べ品数が少なかったものの、ソファなど人気の品には多くの入札がありました。

また、フリーマーケットやエコ商品の抽選会、廃油石けんの販売、コーヒー牛乳の無料配布が行われ、約190名の来場者を楽しませていました。

学校給食に役立てて

北ひびき農業協同組合（西本護代表理事組合長）から、学校給食に活用してもらうため地元の農産物が寄贈されました。西本組合長から「子どもたちの食育に役立ててください」と、奥山町長に目録が手渡され、奥山町長からは「今年は天候に恵まれないなか大変ありがたい。故郷を知る教育のためにも有効に使いたい。」と感謝の言葉が述べられました。和寒町にはお米80kg、馬鈴薯40kg、玉ねぎ40kg、南瓜10kgが寄贈され、今後子どもたちの給食に使用されます。



10/11
(木)